はじめに

地域福祉を取り巻く課題は、少子高齢化や核家族が進行し、価値観や生活スタイルが多様化しており、また、地域のつながりの希薄化等により地域社会が変容するなど、多様化・複雑化しています。

このような状況を踏まえ、わが国では、これまでの制度・分野の枠や、「支え手」「受け手」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、住み慣れた地域で自分らしく、そして、助け合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。

本市では、平成19年3月に地域福祉施策の指針となる「伊万里市地域福祉計画」を策定し、平成24年3月と平成29年3月に計画の見直しを行い、助けあいや支えあいによる地域福祉の向上に努めてまいりました。

この度、平成29年3月に策定した「第3次伊万里市地域福祉計画」の基本理念を引き継ぎ、地域を取り巻く状況の変化に柔軟に対応しながら、地域の担い手による「支え合い」「助けあい」によって、だれもが住み慣れた地域で生活できる「地域共生社会」を目指して、「第4次伊万里市地域福祉計画」を策定いたしました。また、伊万里市社会福祉協議会においては、相互に補完しあう地域福祉活動計画について見直しがなされ、一体的な計画として「第4次伊万里市地域福祉活動計画」が策定されたところであります。

「第4次伊万里市地域福祉計画」は、本市における福祉分野の個別計画の「上位計画」に位置づけられ、 各個別計画と地域福祉の方向性や基本理念などを共有しながら、総合的かつ計画的に推進するための計画となっております。 併せて、第4次伊万里市地域福祉計画では、成年後見制度利用促進と地域再犯防止推進が、地域共生社会の実現の一端を担うことから、成年後見制度利用促進基本計画と再犯防止推進計画を計画に包含することで、地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

今後も、基本理念である「みんなで助けあい、支えあう　だれもが住みたいまち・伊万里をつくる」の実現のため、市民の皆様、福祉事業者、関係団体、地域の関係者と行政が相互に連携し、ともに、地域福祉を推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定にあたり貴重なご意見やご提案をいただきました「伊万里市地域福祉計画策定委員会」の田代委員長をはじめとする委員の皆様と、アンケート調査で貴重なご意見をいただきました市民の皆様、関係団体の皆様に、心から感謝を申し上げます。

令和4年3月

伊万里市長　深浦　弘信